



MAKE BEYOND

つくるを拓く



第121期 中間報告書

2024年4月1日から
2024年9月30日まで



株式会社 大林組

証券コード：1802

株主の皆様へ



代表取締役社長 兼 CEO
連 輪 賢 治

平素は格別のご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。

当上半期における当社グループの連結業績につきましては、売上高は国内・海外建築事業における大型工事の進捗や海外土木事業におけるMWH社の連結子会社化等により、前年同期比1,592億円（14.7％）増の1兆2,405億円となりました。損益の面では、国内建設事業において手持ち工事の採算性が改善したことなどにより、営業利益は前年同期比146億円（47.5％）増の454億円、親会社株主に帰属する

中間純利益は、政策保有株式の売却等により、前年同期比253億円（85.3％）増の551億円となりました。

2024年度の通期業績につきましては、売上高は2兆5,100億円、営業利益は930億円、親会社株主に帰属する当期純利益は870億円となる見通しです。

1株当たり配当金につきましては、中間配当金を40円、期末配当金を40円（予定）としており、年間配当金80円を予定しております。

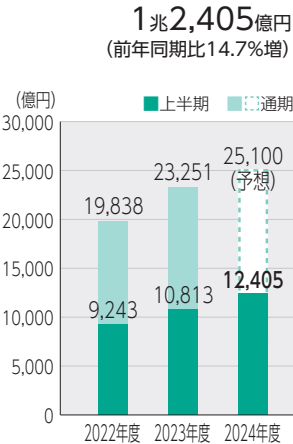
当社グループでは、経営の最優先事項である安全と品質の確保をはじめとして、事業基盤の強化と変革の実践に取り組むことで企業価値の持続的な成長に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

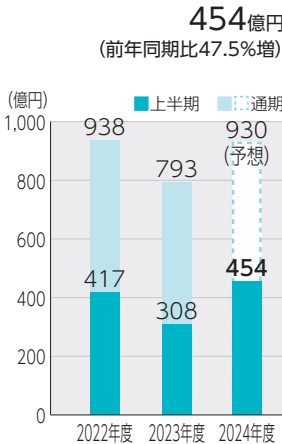
2024年12月

業績ハイライト（2024年度上半期実績及び過年度推移）

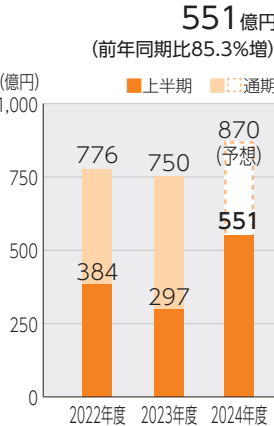
■売上高（連結）



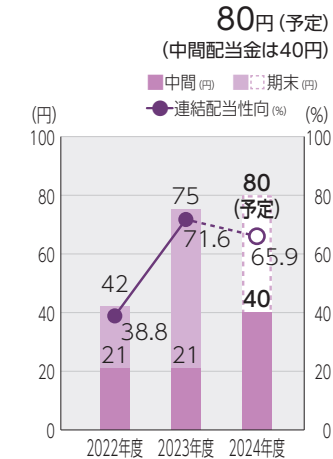
■営業利益（連結）



■親会社株主に帰属する当期純利益（連結）



■（参考）1株当たり年間配当金



※2024年度の通期業績は、2024年11月11日に発表した数値を記載しております。

事業別の概況

(建設事業)

建設事業受注高につきましては、国内建設事業における大型工事の受注増や海外土木事業におけるMWH社の連結子会社化等により、前年同期比6,501億円（69.7％）増の1兆5,829億円となりました。その内訳は国内建築事業6,714億円、海外建築事業2,827億円、国内土木事業2,390億円、海外土木事業3,897億円です。

次に、建設事業売上高につきましては、国内・海外建築事業における大型工事の進捗や海外土木事業におけるMWH社の連結子会社化等により、前年同期比1,584億円（15.3％）増の1兆1,951億円となりました。その内訳は国内建築事業6,351億円、海外建築事業2,637億円、国内土木事業1,846億円、海外土木事業1,115億円です。

また、営業利益につきましては、国内建設事業において手持ち工事の採算性が改善したことなどにより前年同期比144億円（59.2％）増の389億円となりました。

(不動産事業)

不動産事業につきましては、売上高は前年同期比28億円（14.8％）増の225億円、営業利益は前年同期比3億円（6.8％）減の49億円となりました。

(その他)

その他の事業につきましては、売上高は前年同期比20億円（8.4％）減の229億円、営業利益は前年同期比5億円（48.7％）増の16億円となりました。

主な受注工事

発注者	工事名称
ダイビル(株)	札幌ダイビル再開発プロジェクト 新築工事
京セラ(株)	京セラ株式会社長崎諫早工場 第1工場新築工事
横浜市	保土ケ谷工場（仮称）改築工事
仙台市	仙台市役所本庁舎整備第1期 建築工事
大阪府	大阪モノレール 門真南駅（仮称） 駅舎建設工事
ポートランド市水道局	ブルランろ過施設建設工事（米国）※

(注) ※は大林U S Aの子会社であるMWH社の受注工事、その他は当社の受注工事です。

主な完成工事

発注者	工事名称
積水ハウス(株) 日本生命保険相互会社	赤坂グリーンクロス新築工事
ボッシュ(株)	BOSCH Fusion Project建設工事
西日本旅客鉄道(株)	イノゲート大阪新築工事
(株)KOKUSAI ELECTRIC	株式会社KOKUSAI ELECTRIC 砺波事業所新築工事
ヤマハ(株)	ヤマハ本社22号館新築工事
合同会社グリーンパワー 深浦	グリーンパワー深浦風力発電所 建設工事

<事業別 売上高及び営業利益（連結）> （単位：億円）

区 分	建設事業					不動産 事業	その他	合 計
	国内 建築	海外 建築	国内 土木	海外 土木	建 設 事業計			
売 上 高	6,351	2,637	1,846	1,115	11,951	225	229	12,405
営業利益	135	66	172	15	389	49	16	454

当社グループの主な完成工事



撮影：(株) 伸和

イノゲート大阪新築工事(大阪府)



写真提供：株式会社グリーンパワーインベストメント

グリーンパワー深浦風力発電所建設工事(青森県)



ヤマハ本社 2 2 号館新築工事(静岡県)



BOSCH Fusion Project建設工事(神奈川県)



株式会社KOKUSAI ELECTRIC砺波事業所新築工事(富山県)



赤坂グリーンクロス新築工事(東京都)

大阪・関西万博のシンボル「大屋根 リング」の基本構造体が完成

当社グループは、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）のパビリオン建築や会場整備に携わるほか、シグネチャーパビリオンにゴールドパートナーとして協賛しています。

その関わりの一つとして、当社を代表とする共同企業体（以下、「当社JV」という。）が6月に基本構造体を完成させた大屋根リングに適用した技術や施工方法をご紹介します。



109個の木架構ユニットを円形につないだ幅約30m、高さ約20-22m、内径約615m、周長約2km、建築面積約60,000m²の世界最大級の本造建築物。

当社JVが担当する北東工区及び他工区の床材等には、当社グループのサイプレス・スナダヤ（愛媛県西条市）が製造したヒノキを基材としたCLT（直交集成板）が採用されている。

大屋根リングは、「多様でありながら、ひとつ」という今回の万博の会場デザインの理念を表す周長約2kmの世界最大級の本造建築物であり、万博開催期間中、会場の主動線として円滑な交通空間となると同時に、雨風や日差しを遮る快適な滞留空間としての役割を担います。

大屋根リングの柱・梁の接合部には、日本の伝統的な本造建築で使用する「貫（ぬき）」工法が採用されており、実施設計及び施工を当社JV及び他工区それぞれが安全かつ合理的に作業するために独自の技術を取り入れています。

当社JVの担当工区では、1万本を超える柱・梁部材と約7,800ヵ所ある貫接合を、設計と施工の両面から効率化しました。設計段階では、将来のリユースが容易となるよう、通常、柱と梁の接合に用いられる楔の代わりにラグスクリーボルトと仕口部のめり込み防止用圧搾プレートを用い、剛性と耐力を確保できる仕様としました。予めこれらの接合部材を梁に埋め込むことで、現場での固定作業はボルトを締め付けるのみとなり、大幅に作業効率が向上しました。

施工段階では、柱や梁を順次組み立てていく通常の施工方式ではなく、予め柱に梁を差し込んだ平面ユニットや、構造体上部の部材である立体ユニットを地上で組み立て、揚重作業により取り付ける方式を採用することで、計画より約1.5ヵ月早く完成しました。



予め組み立てた平面・立体ユニットを取り付ける施工方式を採用し作業効率は大幅に向上。

当社グループは、今回の万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に技術で貢献するとともに、良き企業市民としてすべての事業活動において地球環境の課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

瀬戸内海と讃岐平野の山並みに溶け込む多目的アリーナ

当社は、「優れた技術による誠実なものづくりを通じて、空間に新たな価値を創造する」ことを企業理念に掲げ、建設事業の技術開発やDXの推進に取り組んできました。

ここでは、当社グループが長年培ってきた技術とDXを活用した施工物件として、当社を代表とする共同企業体が施工を担当し、本年11月に完成した「あなぶきアリーナ香川」（香川県高松市）をご紹介します。同施設は、メインアリーナ、サブアリーナ及び武道施設の3つの施設から構成され、国際的な競技大会やコンサート等の開催が可能な中四国最大級のアリーナとして2025年の春に開業予定です。

瀬戸内海や讃岐平野の山々の風景との連続性を感じさせるフォルムが特徴の同施設は、周囲の景観に配慮して高さを抑えた1枚の大屋根が柔らかな曲線で3施設を繋いでいます。一般的に大空間を持つ建造物は、立体トラス構造で空間を支えることが多いですが、今回は高さを抑えるために、「単層ラチスシェル構造」が採用されています。



最大収容人数1万人の中四国最大級のアリーナとして2025年の春に開業予定

同施設の鉄骨建方では、敷地に余裕がないため、構造物の外にクレーンを設置できませんでした。そのため、アリーナの中央にクレーンを設置し、クレーンを後進させながら鉄骨を組み立てる「建て逃げ方式」を採用しました。通常、単層シェルドーム構造の施工では、曲線形状を保持するために、円形のテンションリングを最初に構築し、外周から組み立てる方法が精度確保に適しています。しかし、今回の「建て逃げ方式」ではクレーンの退路を確保する必要があり、リングの一部が途切れた状態で施工を行うため、精度の確保が難しい工事となりました。曲面形状の精度管理には、BIMを活用し、さらに荷重変位を効果的に抑える仮設の変形抑制材を設置するなど、細心の注意を払いながら施工を進めました。



工事用エリアが少ないため、鉄骨の組み立ては「建て逃げ方式」を採用

昨今、全国各地でスタジアムやアリーナの新設・建て替え計画が発表されています。当社は、本プロジェクトで培った技術や知見を、現在施工中のプロジェクトや将来の工事獲得に向けて活用してまいります。また、顧客や社会のニーズに応じた良質な建築物やインフラ施設を提供することで持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
期末配当金 3月31日
受領株主確定日
中間配当金 9月30日
受領株主確定日
単元株式数 100株
公告の方法 電子公告
公告掲載URL (<https://www.obayashi.co.jp/koukoku/index.html>)
株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

【証券会社で口座を開設されている株主様】

口座を開設されている証券会社にご連絡下さい。

【証券会社で口座を開設されていない株主様（特別口座の株主様）】

上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行株式会社）にご連絡下さい。

※未払配当金のお支払いにつきましては、どちらの株主様も上記株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社）が承ります。

単元未満株式の 単元株式数当たりの売買委託手数料相当額を買い
買 取 手 数 料 取った単元未満株式数で按分した額及びこれにか
かる消費税額等の合計額

上場金融商品取引所 東京証券取引所

株主総会資料の書面交付請求について

当社は、環境負荷低減の観点から、株主総会資料（招集ご通知）を当社HPにてご提供しており、また、書面では、株主総会議案等を抜粋した要約版をお送りしています。詳細版の送付をご希望の場合は、以下ウェブサイトから2025年3月31日までに「書面交付請求」のお手続きを行っていただきますようお願いいたします。

三菱UFJ信託銀行ウェブサイト

<https://www.tr.mufig.jp/daikou/shomenkoufu.html>

お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部：0120-696-505
(フリーダイヤル)

(受付時間：土・日・祝日等を除く 平日9:00～17:00)

表紙写真

上段（右）：（仮称）港区西麻布四丁目計画（撮影：エスエス）

上段（左）：赤坂グリーンクロス新築工事

下段：安威川ダム建設工事



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

